

絆～加茂

発行・編集
社会福祉法人
川西市社会福祉協議会
加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

「福祉委員改選に向けて」



加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫



地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
日頃は福祉活動に積極的にご参加頂き、福祉サロン会・カフェ「憩い」等盛況に推進できています。

福祉委員の皆様、地域の皆さまとのふれあいを大切に「絆」を深める活動を更に深化して頂き、「ふれあい・見守り・声掛け活動」等に反映し地域づくりを推進出来れば幸いに存じます。

福祉委員は二年ごとに改選をします。令和七年度は改選の年となり、新たに福祉委員の募集をすることになります。現在福祉委員の皆様二年間お疲れさまでした。

新年度もご支援頂きますようお願い申し上げます。共に、新福祉委員の募集も致します。

福祉委員の役割は「誰もが安心して暮らせる地域づくり」の推進役です。「つながり・見守り・支えあい」等地域の方が「参加・参画・活動」出来る地域づくりの推進を行うこととなります。このようなボランティア活動を一緒にやりませんか！お待ちしております。

副委員長 片山 守

月日の流れは早いですね私も福祉委員で十年近くになりました。

多くの方に助けていただき感謝しながら旧ふたば幼稚園を利用して、毎月一回のサロン会や、週に二回となったグラウンドゴルフを行っています。その他の福祉活動の拠点としても広く使われます。園庭ではポッチャや

《 福祉拠点「旧ふたば幼稚園」管理に思う! 》

モルツクのスーツ関係、また教室では歌や踊り、子ども達との工作づくりと多くの交流事業も行っています。

フレイル予防で始めたグラウンドゴルフも週一回が二回になり二十二名の登録メンバーがいます。朝から笑いあり、悔しさあり、難コースありで日々努力して今は五回もホールインワンすることもあり、今年はどうな記録がでるか楽しみにしています。

夏の暑い時の園庭の草刈りも大変ですが、園庭の花壇には年中、季節の花が咲いています。

加茂小地区の皆さま一度、旧ふたば幼稚園でグラウンドゴルフ楽しみませんか、お待ちしております。



「カフェ憩い」再開後の進捗について

カフェを始めた頃は、毎週のように開けていたが、コロナ禍に入り殆どが、行事がストップ、カフェ「憩い」も随分長く開けられませんでした。

コロナが鎮まり「さあ、カフェも始めよう、七月からオープンだ」となりました。スタッフ側にしろ、お客様側にしろ取り巻く状況が今までと、随分違うだろうと思いい色々心配しま

コロナ禍で、開催できなくなり四年間、お待たせ致しておりますが、令和六年七月より、月に一度、第四水曜日の午後一時半〜三時半まで、民生委員・福祉委員方々の協力で再開することが出来ました。

ある人は珍しい花を飾ってくださいと、持って来てくださり本当に有り難いことです。

以前に比べて、来店して

第二拠点 南花屋敷中央会館 新田 容子

第一拠点 加茂会館 森田 淑子

したが、当日「来たよ」と、顔なじみのご近所さんが数人で来てくださり、スタッフもお客様も関係なく、話の輪が広がり、全く遠慮のない茶の間よう。

そこで、もつとカフェを利用して楽しんで頂きたいと思いい、地域の掲示板でカフェの日を、お知らせしました。

少し増え楽しみです。

下さる人数は少し減少しましたが：

開店前からお越しになり、時間いっぱいお喋りをされておられ、とても楽しそうです。

これからも、美味しく温かいコーヒーを、提供させて頂きますので、お一人でも、お友達とご一緒にお越し下さいませ。

心よりお待ちしております。



第三拠点 加茂第二会館 三浦 幸子

令和六年九月から加茂第二会館に於いてカフェ「憩い」を開設する運びとなりました。オープン初日は酷暑の中、予想をはるかに超える四十三名のお客様が来てくださり、お席も足りない状況で、スタッフ全員で対応に追われました。沢山のお客様で賑やかに初日を飾る事ができ、たいへん嬉しく思いました。

其の後も三ヶ月連続、四十名超えのお客様で賑わい嬉しい悲鳴と共に地域でふれあいの場、居場所を求めている方が沢山おられる事を痛感しました。もつと早く開設すべきだったと思いました。

一杯のコーヒーで皆様が楽しそうに談笑されている光景を目にして地域住民が、絆を深める場所が現代社会に本当に必要だったと改めて気付きました。

これからも気軽に来ていただけるよう、心地よい雰囲気作りにはスタッフ一同努力する所存でございます。皆様いつでもお気軽にお越し下さいね、心からお待ちしております。

キャラバンメイトの役割とは

キャラバンメイト代表
苧田 昌之

キャラバンメイトは、日頃認知症サポーター養成講座の企画立案を担い、講師役を務めさせて頂いておりますが、コロナ感染が流行するようになり活動することは一切中止になったのでサポーター養成講座は中止と致しました。

ところがコロナ感染が治まるようになってきましたので、令和六年度は、加茂小学校区内の各自治会館に於いて自治会員の方々に認知症サポーター養成講座を实行させて頂きました。

世の中が少子高齢化社会と、なってきたり、現状にあつて、まん悪く認知症となった方が住み慣れた所で、余生を送っているだけで地域社会となるように、キャラバンメイトは、日々活動させて頂いております。



青少年指導委員としての思い (地域状況)

青少年指導委員
代表 安藤 美津

青少年補導委員として前任者から引継ぎ、かれこれ十年がたちます。今までは月二回のパトロールをして子どもたちの下校を見たり、公園を廻りこれまで問題なく安全な毎日でした。

令和六年三月末までは教育委員会が関わっていたので青少年センターの方が二ヶ月に一度の定例会に來られ、全体の危険情報などを報告していただきました。しかし三月末で組織が解散となり、これまでパトロールしてきた皆さんとは、このまま解散ということは残念と言う方もあり、コミュニティ会長に相談したところ、コミュニティ運営団体と活動できることになり四月からは月に一度、加茂は加茂小地域、久代は久代地域をパトロールし二ヶ月に一度お互いに地域情報を報告し交流しています。

また会議には両小学校の校長先生、南中学校は生活指導担当の先生も参加されており、学校での問題点を話していただき、私たちの活動も先生方に聞いてもらい地域の安全について話し合っています。

ベストを着てパトロールするだけでも事故などの抑止力になると思います、これからも子ども達の安全のためにパトロールを続けていきます。

防犯訓練に参加して

防災委員 直居 錠一

今年の四月から防災委員を務めさせて頂きます。皆様のお力になれますように努力して参りますので、宜しくお願い致します。

令和六年九月十四日(土)に災害時の図上訓練「DIG」の講習を受けました。参加者を住所より四班に分かれて話し合い、避難場、避難場所等、安全になるべくパニックに陥らないよう行動すること等話し合いました。

震災や災害が起きたら、お互いに協力・助け合い・励まし合いが一番大事だと思います。

能登半島地震から一年が経ちますが復旧、復興は完全とは言えません。国会でも色々と議論をしているようですが難航しているようです。

自分の身は自分自身で守るという気持ちでこれからも災害に備えたいと思います。



花花たんぽぽ「にぎやか発表会」に参加して

花花たんぽぽ代表
尾野上 一夫



今年度の出演はろう者
二名・地域住民四名・福
祉関係者二名・通訳者二
名です。演目は手話寸劇
(玄関チャイムの今昔)・
(目覚まし時計の今昔)&
手話単語
淡路島・玉ねぎ・じゃが
いも・カレー・晩御飯・
美味しい・自転車・遠足・
雨晴れ・スマートフォン・
ありがとう
今年度は、このにぎやか
発表会前、アステホール
にて市の言語条例を記念
して開催された「手話ま
つり」に出演した関係で
度胸もつき、自分たちの
持ち分を淡々と演じ切り
ましたね。



花花たんぽぽの活動目的
を少しでもお話させてくだ
さい。
地域住民が手話を取得す
ること以外に災害に備えて、
ろう者の方々が災害弱者に
ならないように地域情報と
避難所までの避難経路を定
期的に説明をしています。
お互いに見える関係づくり
を大切にしています。
原則、毎月の第一土曜十時
から十二時まで加茂ふれあ
い会館コミュニティ室で活
動しています。(一度覗いてく
ださい)

高齢者「日帰りバスツアー」に参加して

地域代表
坂田 みどり

令和6年12月4日(水) 加茂地区高齢者対象の滋賀グルメ「近江牛」日帰り旅行に男性14名、女性34名総勢48名で出発しました。

まずは天智天皇を神とする近江神宮へ、時の神様漏刻(水時計)百人一首の、かるたの聖地としても有名です。次は妹子の郷に、お楽しみの近江牛の昼食です「美味しかった!!」

午後からは草津市立水生植物公園みずの森へ、多くの水生植物を育む琵琶湖の豊かな自然に囲まれた憩いの場、皆さんは蓮と睡蓮の違いをご存知ですか?

蓮は泥の中で育ち、やがて綺麗な花を咲かす。清浄と不浄が混沌とする。この世から悟りを見い出すことを教えとする仏教のシンボルで水面より高い位置に花をつける、睡蓮は水面に咲く。

植物園の花々を見つめていると一瞬、無の境地に身を委ねた様な時が流れました。

天候にも恵まれ渋滞にもあわず、沢山のお土産を持ち、運転手さん、ガイドさんに感謝しつつ帰路に着きました。

